

イスラエルチーム2022.10.31-11.12

イスラエルチームに参加して

■ピリポ宮城（TLEA名護アンテオケ教会牧師）

今回初めてイスラエルチームに参加し、あふれるばかりの恵みと祝福、神の言葉をいただき感謝します。又、TLEAの教会全体の祈りによってイスラエルチームが事故から、すべての災いから守られ導かれた事に心より感謝いたします。

今回イスラエルチームに参加するにあたり、個人的に11月3日結婚40周年の筋目よりイスラエルの民が出エジプトし40年間の荒野から「あなたがたは向きを変えて出発せよ。」と申命記1章7節から示され夫婦で参加することが導かれました。そして、名護アンテオケ教会のビジョンに「子どもの支援から高齢者の支援の働き」が語られ、確認の神の言葉を求めると共に、「これから働きはさらに忙しくなる」と示されたので、この派遣で奉仕を通しての訓練と整えが与えられるようにと（妻が熱心に祈り求めていた）願っていた所、イスラエル派遣において、ツアーの副リーダー、夜の司会、後半賛美リード、特別賛美等と予想以上の奉仕が与えられました。ツアー時には数秒のずれで大惨事となる事故から守られたり、聖会時にも主が共にいて、日々神の御業を体験することが出来ました。さらに、パウロ秋元牧師を通して与えられた新年の御言葉、申命記1章40節より「あなたがたは向きを変え、葦の海への道を荒野に向かって旅立て。」と語られ、この派遣において大きなみ心がある事を確信しました。



皆さんご存知のようにテルアビブの空港で全員の荷物が紛失するアクシデントが起こるスタートとなりましたが、全員で感謝するという信仰の対応の結果、すべてを働かせて益としてくださる神の御手が働き、ダン・エルサレムホテルへ（2日後に）全員の荷物が届くという神業が起きました。

又、教会のビジョンに対する御言葉が、ヨブ記29章12節～13節を通して確認することが出来ました。毎日ツアーの中でイスラエルの歴史を、マサダやシロの地等で学ぶこともでき、特に黄金門前やヘルモン山での礼拝において神様の深いご臨在にふれ感謝しました。

さらに、ロシア系ユダヤ人のレオン牧師の教会での特別賛美においての臨在は深く、これからの賛美を通しての神の働きが強く示されました。

又、初めて虹色の月の光輪を見、神がこの群れを祝福し、生きて働く神が共にいるという事、これからカナンを占領する歩みの中で困難、問題が許される時も神が共にいるという恵を受けました。

この恵みはTLEAの教会全体に与えられている事だと感じました。

今回沖縄から4名のメンバーがイスラエルチームに参加して共に祈り、H姉妹においては初めてプロジェクターの奉仕を全うすることが出来、帰沖後も礼拝でプロジェクターの奉仕をする事が可能になりました。

「新年度礼拝はガリラヤ湖でスタートする。」イスラエルチームの恵みは実に大きくTLEAのすべての兄弟姉妹に与えられている恵みです。

感謝と賛美をもって共に神の言葉に聞き従いカナンの地の恵みを共に受けていきましょう。

